

目指す児童生徒像「明日をひらき のびゆく 輝多っ子」



学校教育目標 「自立・創造・貢献」

高萩北中だより

令和6年4月9日 第1号



考えよう  
家族みんなで  
スマホのルール

私からは子どもたちの健康をより徹底に取り組みます

高萩北中プロジェクト



1年1組



1年2組



1年3組

## 令和6年度の新学期スタートです

校長 島津 芳久

校庭の桜も満開を迎え、暖かな空気に包まれ入学式を挙行することができました。

新入生99名を迎え、全校生徒340人での高萩北中41年目の歴史が始まりました。

学校は、保護者、地域の皆様と教職員、生徒が互いに理解、協力し合う中で教育効果が高まると考えています。昨年度、内容は見直しつつほとんどの行事を実施することができました。今年度は、さらに充実した内容にしていきますので、今まで以上にお力添えいただきますようお願いいたします。

今年度も学校の教育目標は「**自立・創造・貢献**」とします。また、高萩北小・中学校として目指す児童・生徒像も「**明日をひらき のびゆく輝多っ子**」と変わりません。義務教育9年間を見つめ直し、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進していきます。

今年度も校長を務めさせていただきます。島津芳久です。笑顔を大切にしながら、生徒の夢の実現に向け支援していきたいと思っております。



## 「入学式式辞」(要旨)

中学校の三年間は、心も体も大きく成長し、小学校の卒業式で発表してくれた、将来の夢を実現する道筋を具体化する中身の濃い三年間なのです。そこで、充実した三年間を送るために、次の言葉を覚えておいてください。それは、「いつでも心に希望をもつ」ということです。

皆さんは、ケンタッキー・フライド・チキンを始めたカーネル・サンダースという人を知っていますか。カーネルさんは、65歳の時レストランの経営が上手くいかず、全財産を失ってしまいました。その時、自分に唯一残されたのは、独自のフライドチキンの作り方だと気づき、そのレシピを車で寝泊まりしながら全米のレストランに売り込みました。しかし、何軒回っても断られ続けました。そして、1,010軒目にやっと契約をしてもらえました。

カーネルさんはなぜあきらめずに1000軒以上も回れたのでしょうか。それは、お店で「ノー」と言われても、「次は必ずオッケーと言ってくれるはずだ」「いつか自分のフライドチキンをわかってくれる人がいる」と思い続けたからなのです。

今日から始まる中学校生活では、うまくいかないこともあるし、失敗することもあるでしょう。しかし、そんな時でも「次はうまくいく」という希望を、いつでももっていてほしいのです。「希望」に理由はいりません。「次はうまくいく」と思うだけでいいのです。

そう自分に言い聞かせて、何度でもチャレンジすることを忘れないでください。